

看護専門科目	広域発展看護学					
看護学科	必修	1単位	演習	平成30年度	後期	4年次
科目名	看護研究演習Ⅱ					
担当教員	◎岩本淳子 江南宣子 他看護学科教員					
目的	<p>看護研究演習Ⅰにおける文献検討の結果を踏まえて設定した研究テーマに関して、研究目的を明らかにする。研究目的から、それを解決するのにふさわしい研究デザインおよび研究方法を立案する。研究方法には、データ収集方法、データ収集に関する倫理的配慮、収集したデータの分析方法などのついて、文献クリティークした先行研究を活用して、個人・グループディスカッションの場を活用して検討を行う。</p> <p>最終的には研究計画書としてまとめ、学年末にはプレゼンテーションを行うことで、看護学研究方法のプロセスを学習する。</p>					
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究計画書に必要な要素に沿って計画書をまとめることができる。 2. 計画書の「研究の背景（問題の背景）」に文献レビューの要約を明確に記述できる。 3. 文献レビューからこの研究目的とした理由が簡潔に記述できる。 4. 選択した研究デザインと研究目的の関係を記述できる。 5. 自己の研究で起こりうる倫理的問題とそれを回避するための方法を記述できる。 6. 研究計画書をパワーポイントを用いてまとめることができる。 7. パワーポイントを用いて研究計画を説明できる。 8. プレゼンテーションで出された質問に真摯に対応できる。 9. 聴衆の反応を見ながらわかりやすくプレゼンテーションできる。 10. 計画書の発表会で得た示唆に基づいて自己の計画書を修正できる。 					
他科目との関連	「看護研究方法論」「看護研究演習Ⅰ」A4:H8C17A6:H8A3:H8C17A6:H8A2:H8C3:H8					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	レポート	課題レポート（研究計画書）				0.8
	その他	研究計画書発表時の発表内容や発表のしたか				0.2
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	坂下玲子ほか 系統看護学講座別巻「看護研究」（医学書院）					
参考資料	黒田裕子「Step by Step」（学研） バーンズとグローブ「看護研究入門」（エルゼビア） 山川みやえ「よくわかる看護研究論文のクリティーク」（日本看護協会出版会）					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	これまで学習してきたことを参考に研究計画書を作成しプレゼンテーションできるように準備する。研究計画書の発表会でこれらの成果が認められない場合は不合格となる場合がある。					